

11月4日(土) 賛助会員発表 第2室 (213)

社会のグローバル化に伴う英語学習
—リスニング力向上の鍵—

Key to Improve Listening Comprehension in the Face of Globalization

立命館大学エクステンションセンター講師

桐原 雅子

世の中のインターネット普及などに伴い、英語でのコミュニケーションの必要性が日に日に高まっているのは周知のことである。「ある日突然、会社の公用語が英語になった」「近い将来、英語が世界共通語になる」という話さえ、今では珍しくないほどである。

発表者は以前、企業内で英語教育を担当していたが、いったん外資の資本下に入ると次から次へと新しい合併が繰り返されて会社の組織が変わってしまい、〈英語ができなければ、職務上のステップアップもできない〉という現状も目のあたりにしてきた。

このような状況のもと、一般企業では**英語のコミュニケーション能力を測る世界の共通尺度として TOEIC が定着しつつある**。さらに学生のなかでは、在学中から将来を見据えたキャリアアップが盛んに行なわれてきている。

英語を母国語としない学生にとっては、TOEIC あるいは(米国・カナダへの留学時に必要とされる) TOEFL のリスニングセクションで求められているリスニング能力は非常に高度なものがあろう。あのスピードで、しかも1度しか聞くチャンスがなく、メモもとれないなかで、内容を把握し正答を選ぶ力を養うのは容易なことではない。しかし、現地の大学や実社会では、これこそが本当に求められている力そのものなのである。

「ゆっくり話してもらえると理解できるのだが。」

「時間をかけて考えればわかるのだが。」 「何度か聞くと理解できるのだが。」

——これでは実際の業務において役に立たないし、今後はさらに、スピードが求められるようになってくるであろう。この2つの試験に共通する、「限られた時間、しかもリスニングにおいては1度しか聞くチャンスがないなかで、正確に問題をこなす」というのが、まさに今後、学生に求められる力であることは疑う余地がない。

しかし、残念ながら年々日本人学生の学力低下が指摘されており、英語力についてはアジア諸国のなかでも特に顕著になってきている。コミュニケーションがとれないことが原因の1つと言われるが、ナチュラルスピードで話される英語についていけない、まったく異なる音に聞こえる、何を言っているのか状況がまったく掴めないなど、具体的には種々の問題が考えられ、さらにそれらの問題の大きな要因の1つとして、リスニングにおいて**「現在の英語学習のなかで英語の Sound System を指導する機会がない」**ことが挙げられる。もし、このリスニングの基礎となる音の違いについて、少しでも多くの学生に学ぶ機会を与えることができれば、リスニング力のはるかに高まっていくであろう。現に、発表者が担当している年間約 150 名の学生たちは、発表者の指導方法によって目をみはる効果をあげている。

11月4日(土) 賛助会員発表 第2室 (213)

今回の発表のなかでは、今後ますます必要となるであろう英語運用能力 = 「コミュニケーションをとるためのリスニング力」の養成を念頭に置き、

- ・ ナチュラルスピードの英語を聞く力をどのように養っていくのか
- ・ どのような学習方法が求められ、必要とされているのか
- ・ 従来の教材や指導方法との違いは何か

——など、**学生のリスニング力向上のためのより具体的な指導方法**について、実際の学生の伸長度および発表者の過去の実務経験を踏まえながら、サンプル教材をもとに紹介させていただきたい。

<目的>

学生のリスニング力向上の鍵を握る問題点を把握したうえで、英語を母国語とする人がナチュラルスピードで話す内容を聞き取るためにはどのような指導が必要なのか、学生各自に弱点を認識させ、より具体的な方法を導入する。

<方法>

1. リスニング力が弱いと言われるが、その原因はどこにあるのか

- ・ 英語と日本語の言語構造の違い
- ・ 発話のスピード
- ・ 語彙力・音の法則（連結、省略、同化 etc.）

2. Sound System 紹介例とタスクベースのアプローチ

- ・ Stress-timed or Syllable-timed language?
- ・ Linking
- ・ Elision
- ・ Assimilation
- ・ Contraction ... 等

3. リスニング力アップのための具体的な技術

- ・ スピードに慣れさせるための Shadowing
- ・ 音の再生 (Reproduction)は発話能力をも高める
- ・ 言い替え (Paraphrase) の勧め

4. デモンストレーション